

# 一般質問から

## 自治基本条例について

**Q** 地方分権型の新しい自治のあり方が求められている時代に、全国の自治体で、市民参加による自治基本条例が制定されていますが、今後、八潮市における取組についてお伺いします。

朝田 和宏

**A** 自治基本条例といわれるのは、「自治体の自治の方針と基本的なルールを定める条例」といわれ、まちづくりを進めていく上で、基本となる条例といわれています。本市においても、地方分権時代における住民自治の視点から市政運営の基本的理念や基本的ルールを定め、市民と自治体のそれぞれの役割と責

務を明らかにした、自治基本条例は必要であると認識しております。今年度後半から「市民参加のまちづくり」というテーマで、市民政策提言会議を開催し、学識経験者の方から意見や提言を頂く予定で、それを参考に今後の方向性を検討していく上で、自治基本条例に関する課題につきまして、検討して参りたいと存じます。

## 公共施設利用について

**Q** 市民サービスの一環として各種証明書等の取得受理の取扱所をゆまにて等の公共施設での増設についてお伺い致します。

柳澤 功一

**A** 市役所では、市民サービスの向上と利便性の確保を図るため平成9年4月より日曜窓口を開設し、平成15年7月から「地方公共団体の特定事務の郵便局における取扱いに関する法律」の規定に基づき八條郵便局・古新田郵便局において住民票の写しや戸籍の謄抄本、印鑑登録証明書等の交付を実施いたしました。しかしながら、市役所では日曜日に窓口が開いてい

るのに、郵便局では日曜日は営業していないため、仕事の関係上など身近な郵便局では日曜日に各種証明書の交付が受けられないという声が寄せられ、日曜日に公共施設で交付できないか検討した結果、平成16年5月に資料館で交付事務を実施いたしました。今後、効率的な行政サービスの提供に努めていくとともに、市民サービスの向上と利便性の確保を図るため、ゆまにて等の既存の公共施設を活用して各種証明書の交付を実施していきたいと考えております。

## 浮塚地区における公害対策について

**Q** 浮塚地区には、①軽油を密造し、硫酸ピッチ等を放置している事業所②蜂蜜食品製造における排水をたれ流し、悪臭を発生させている事業所があります。これらの事業所に対する公害対策を伺います。

西俣 総志

**A** ①硫酸ピッチの撤去については、7月8日に埼玉県(産業廃棄物指導課・東部環境管理事務所)八潮市(消防本部予防課・環境課)、埼玉県環境科学国際センターの合同立入検査を実施しました。再度、立入検査を実施し、内容物等を確認することになっております。行為者に対し強く撤去の指導をしています。

②蜂蜜食品製造会社への立入検査では、工場内の施設を洗浄する際に流した水により、りんご糖や蜂蜜等の原料の一部が、清掃用の溝から道路側溝に流出していました。会社では、廃水分析や汚濁負荷に対する適切な処理方法について設備業者に依頼し検討しており、対応策が決定次第、工事等を実施する予定であります。維持管理の徹底や処理施設の増設等を会社に働きかけていきます。

## 防災について

**Q** 八潮市における自主防災組織の現状と活動、情報収集のための組織づくりについて。また、災害時に車が使用できなくなった場合、輸送等にバイクを活用する考えと、ペットの避難所についてお伺い致します。

瀬戸 知英子

**A** 自治会を中心に28団体あり結成率は66・6パーセントです。自主防災組織連絡協議会を通して研修、訓練を支援し防災体制の確立を推進しております。本市では、大規模な災害が発生した場合、町会、自治会の災害対策を支援し、警察や消防機関等と協力し合い、災害対策本部を

設置し、災害対策活動を推進する体制を図っています。オートバイにつきましては、新潟県三条市において、7月に発生した集中豪雨による災害現場で活躍したとの報告を受けていますので、その効果について研究して参りたいと考えています。ペットに関しましては、盲導犬、聴導犬は人間と同様に配慮された例もあり、施設管理者の意見や他市の状況を踏まえ、今後のマニュアルの見直しにあたって検討して参りたいと考えています。

## 教育環境の整備について

**Q** 教室の暑さ対策については、以前にも取り上げられてきました。今年も、梅雨もどこかへ行ってしまうように猛暑が続きました。せめて各教室に扇風機、換気扇などを設置し学習環境の整備が必要と思えます。

郡司 伶子

**A** 今年の夏は県内で30度を超える真夏日が6月、7月で41日、8月で21日と観測史上3番目という「異常な暑さ」となりました。また、都市部の気温は、ここ数年、地表温度が上昇する傾向にあります。このようなことから、教室の温度も上昇し、児童・生徒の学習能率の

低下や体調不良にもつながりかねません。暑さ対策の一環としてこれまでスプリンクラーでグリーンランドへの散水、ウォータークーラーの設置など行ってきました。今後、環境の変化や児童・生徒の体調に留意しながら扇風機、換気扇の設置を調査・研究していきたいと考えております。



## 水害対策(ハザードマップ)又、防災対策に情報収集バイク隊について

**Q** 福井、新潟と思いがけない災害がおこっていますが、本市のハザードマップ計画について。また、防災マウンテンバイク隊の考えについて。

小倉 順子

**A** 江戸川水防組合、埼玉県東部広域行政推進協議会生活環境専門部会の合同勉強会に出席して各市町及び江戸川河川事務所との作業分担を決め、収集、整理の方法について確認をいたしました。また、荒川水系荒川浸水想定区域図では、浸水想定区域図の公表の説明があり、指定された浸水区域などを含め、国や県など関係機関の指導のもとに現在も調査研究を進めてお

ります。また、防災マウンテンバイク隊について、地域ごとに図上訓練を実施いたしまして、地域の弱点を検証し、補完することにより、さらなる情報連絡体制の充実、強化を図るとともにマウンテンバイク隊についても、検討して参りたいと考えております。

